他のスプライトに合図を送る

- こんなときに使うと便利です
  - 複数のスプライトを同時に動かしたいとき
  - あるスプライトが○○をしたあとに、別のスプライトを○○したいとき

と

を使います

- 校内放送がかかると、どこの教室にいても聞こえて、それを合図に各生徒が行動し始めるイメージです
  -

：校内放送をかける
  -

：校内放送を聞いたとき
- どのスプライトからもメッセージ（合図）を送ることができます
- 送られたメッセージは、全部のスプライトに届きます
- メッセージの名前は、自分で決めることができます

▼をクリック

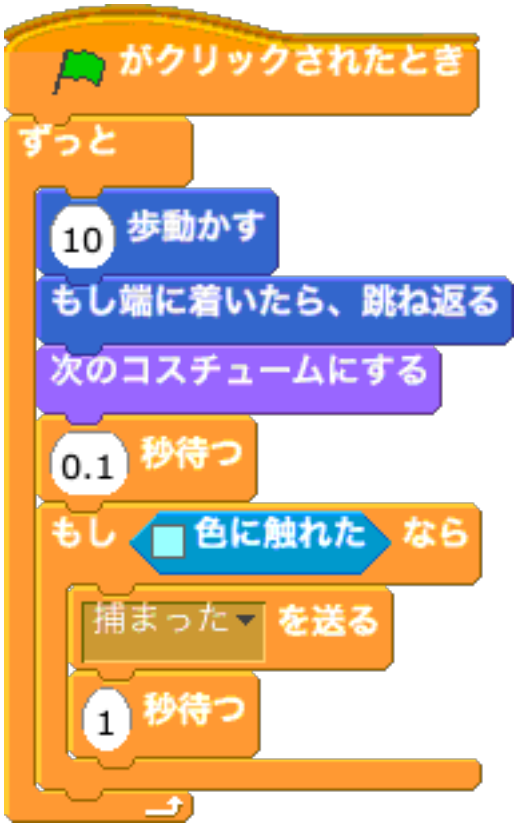
わかりやすい名前をつけましょう

使い方

- 左手で鳥を捕まえたときに
  「鳥が止まって、ネコの顔が変わる」を作ってみましょう

1. 鳥が左手に触れたとき「捕まった」というメッセージを送ります
2. Head（頭の部分）のスクリプトに、「捕まった」を受け取ったときコスチュームを変えると書きます

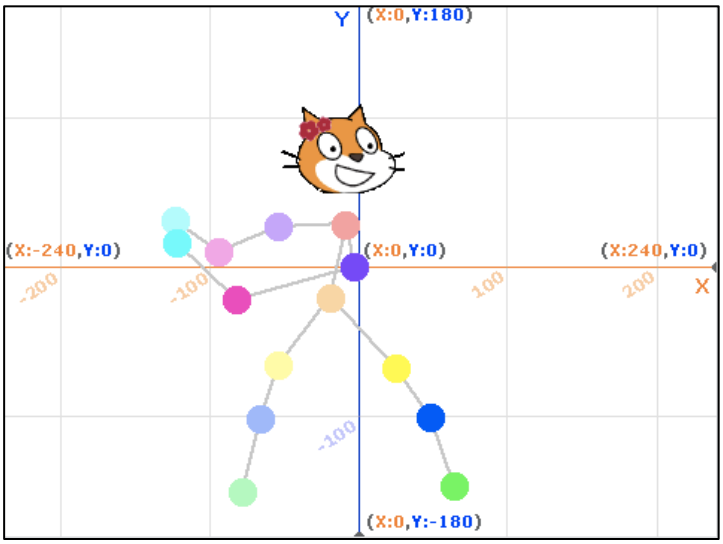
鳥のスクリプト



Headのスクリプト

拍手

- 「拍手」をしてみましょう！
- そのとき、両手の位置は？



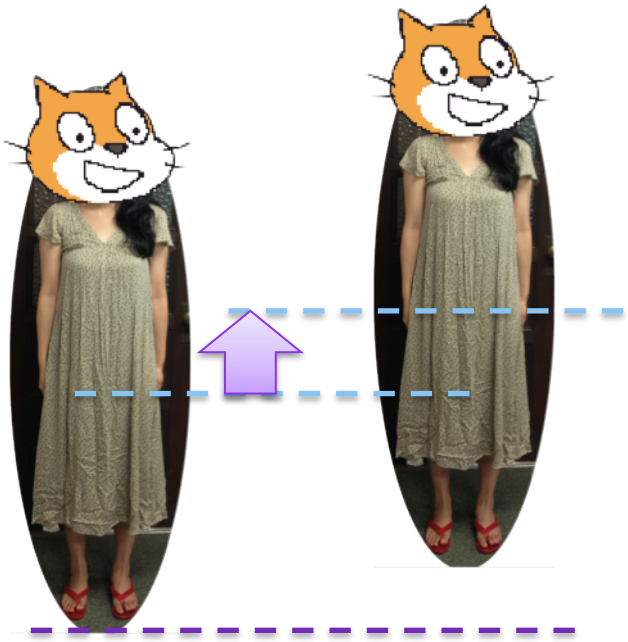
両手が重なっている！

HandLeftのスクリプト

（※HandLeft_xとHandRight_xのセンサーの値でも書けるが、こっちの方が楽）

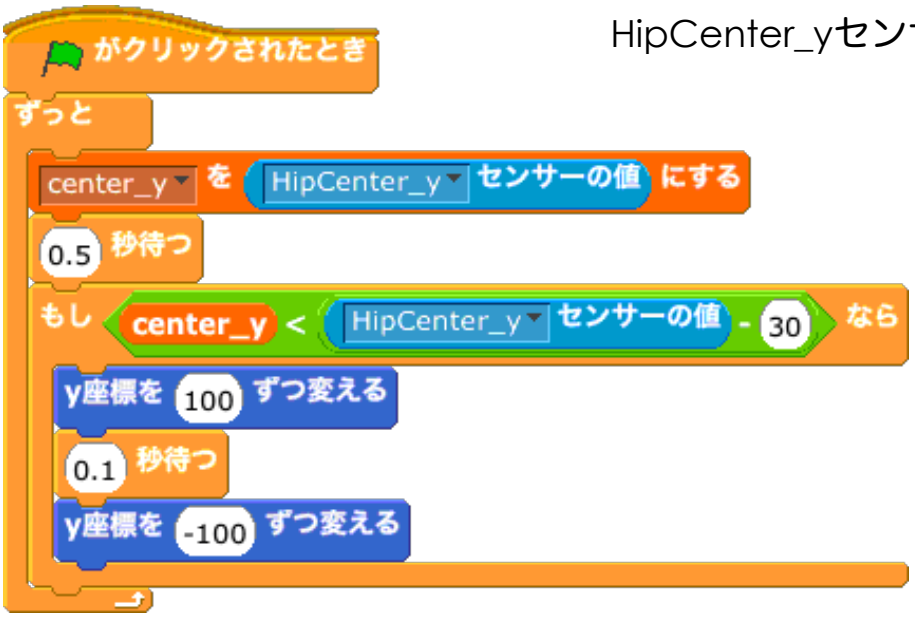
ジャンプ

- 「ジャンプ」をしてみましょう！
- そのとき、腰の位置は？



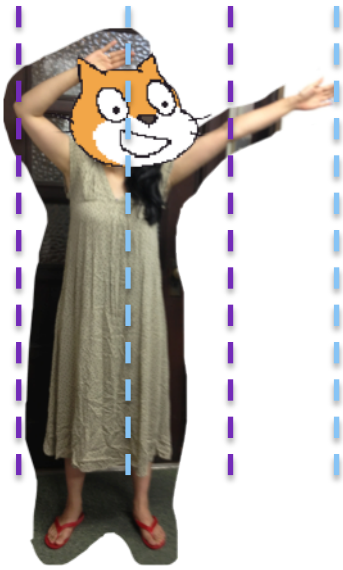
元の腰の位置より高い！

HipCenter_yセンサーの値



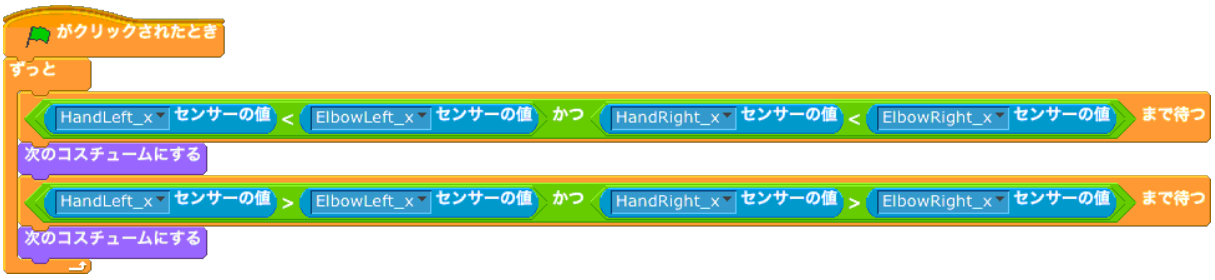
両手を左右に振る

- 「手を左右に振って」みましょう！
- そのとき、ひじの位置と手の位置は？？



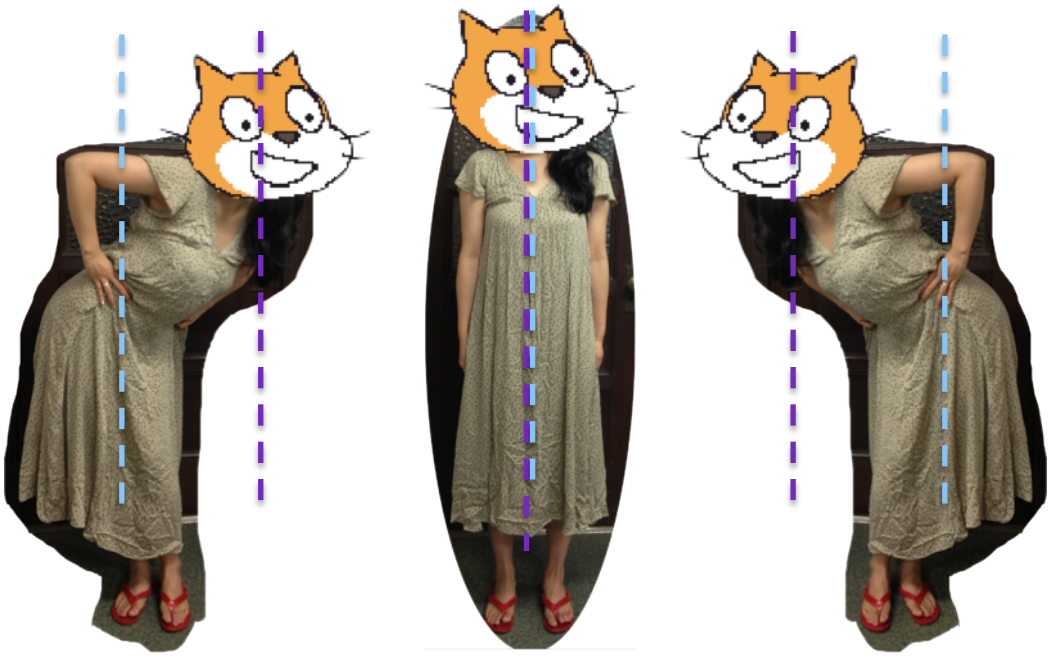
一方は、ひじより手の方が外側で、
もう一方は、ひじより手の方が内側

HandLeft(Right)_xセンサーの値、ElbowLeft(Right)_xセンサーの値



腰を左右に振る

- 「腰を左右に振って」みましょう！
- そのとき、頭の位置と腰の位置は？？



頭の位置と腰の位置が横にずれる

Head_xセンサーの値、HipCenter_xセンサーの値

どれくらいずれるかは、
自分たちで調整してみよう